



## 長野県支部だより

### 夏の風物詩

全国では一般的に8月にお盆を迎えます。長野県では、迎え盆でお墓や玄関先でかんば（白樺の皮）を焚く風習があります。地域によって独特の歌やおまじないを唱えながら、ご先祖様をお迎えします。送り盆でも、同じようにかんばを焚いて、ご先祖様をお送りする風習があります。お盆は、自分の命、そして他人の命について考えるよい機会です。特に今年は、あらためて命の重さ、健康の大切さを感じずにはいられません。



▲かんば（白樺の皮）

また、長野県では成人式を8月のお盆の時期に行う地域があります。長野県支部のある辰野町も毎年8月15日に行われます。進学や就職で地元を離れた人もお盆休みに帰省して、参加しやすいこともお盆に行く理由の一つです。季節柄、振袖に代わって浴衣で参加する女性も多く、1月に行われる成人式とは違った夏の艶やかなオトナの風景がみられます。

